

# 東京市 建築局長

## 佐 野 利 器 氏

我國の建築技術家として何人が最も重大なる責任の位置に在るかと言ふ事は一寸斷言に苦むが、實際的な仕事の量に於て東京市の建築局は恐らく全國に

於て最も多くの仕事を有し又最も重要な民間復興建築に對する技術的指導の事務を有する處であるから、東京市建築局長たる佐野利器博士の如きは學者としても技術家としても最も重要な責任の位置に在る人と思はれる。

近く成立した復興建築會社の如きは佐野博士等が最も盡力されたものである、又目下問題となりつゝある大銀座街其他の共同ビルディング建築に就ては佐野局長の如き人が

第一線に立ちて指導研究して實行の端緒を得る様に盡力されるものと一般に期待してゐる。

共同ビルディングと云ふ事は貧弱な日本の經濟で然も公共的感情の鈍い人を組合員とする仕事であるから實に容易ならざる問題である。然も國家としても東京市としても個人としても此は何うしても

良案を作つて實行しなければならぬ事である。

此點に關して佐野博士は次のトラブルがあると語られた。



Dr. R. Sano, Chief of The Architectural Department of The City of Tokyo.

- 1 組合員の信用程度の異なること
- 2 組合員の感情の一致せざること
- 3 區劃整理の結果小營業の小家主にして大街道に面するに至りしものが大ビルディング組合に加入するの適否

等の問題がありて共同ビルディング組合も急には決定しないと思ふ又目下の處經濟の事情も許さぬから多數の計劃の中から一つか二つでも早く纏まれば良いと思ふ云々。

× × ×

創造の悩みは何處にもある、總ての解

決は眞劍なる興國的努力である。

文化に應ずる經濟的な都市美の共同大ビルディングが果して如何なるものか、其第一先驅が何處に出来るか、今や大銀座建設の案は大に進みつゝあると聞く、議論の多い東京人に對して初めて自分の都市に對する覺醒の時期が來たわけである。